



平成22年9月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	45,351,238 万円	100.0%	103.5% (102.1%)	43,295,984 万円	99.9% (98.7%)
食 料 品	37,621,165 万円	83.0% (83.1%)	103.5% (102.6%)	35,858,308 万円	99.7% (99.1%)
農 産	5,697,843 万円	12.6% (12.3%)	104.9% (104.0%)	5,443,596 万円	101.3% (100.7%)
水 産	3,693,053 万円	8.1% (8.1%)	99.6% (98.8%)	3,501,409 万円	96.0% (95.2%)
畜 産	4,162,995 万円	9.2% (8.9%)	101.6% (99.5%)	3,958,900 万円	97.9% (96.1%)
惣 菜	3,923,978 万円	8.7% (9.0%)	104.9% (104.1%)	3,739,161 万円	100.9% (100.5%)
日配食品	8,721,631 万円	19.2% (18.7%)	104.6% (104.2%)	8,331,620 万円	100.8% (100.5%)
加工食品	11,421,665 万円	25.2% (26.1%)	103.7% (102.6%)	10,883,622 万円	99.7% (99.1%)
生活関連	3,347,204 万円	7.4% (7.4%)	101.6% (100.0%)	3,203,765 万円	98.9% (97.4%)
衣 料 品	1,519,320 万円	3.3% (3.4%)	93.8% (95.7%)	1,471,218 万円	92.3% (94.3%)
そ の 他	2,863,549 万円	6.3% (6.1%)	111.3% (101.2%)	2,762,693 万円	108.5% (98.6%)

② 数 値

全店総売上高	45,351,238 万円	店 舗 数	4,031 店舗
総売場面積	7,688,399.4 m ²	総従業員数	221,938 人

店舗平均月商	11,250.6 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,822 円 (102.2%)
月間m ² 売上(前月)	5.9 万円 (6.4 万円)	平均店舗面積	1,907.3 m ²
月間坪売上(前月)	19.5 万円 (21.1 万円)	パート比率(前月)	76.5% (76.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 8月に引き続き残暑が厳しく、夏物商材が好調に推移した。特に乾麺、飲料、アイスは大幅に伸びた
- ・ 猛暑の影響で野菜・果物の相場高、海水温の上昇により不漁等、生鮮主力商品の相場変動が激しく、個々の商品は大きく変動した
- ・ たばこの値上げに伴う相乗効果により、客単価、一品単価が上がり順調に推移。ここ3カ月をみる限り、売上は回復の兆しがみられる

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ レタス、きゅうり、トマト等のサラダ材料が大きく売上を押し上げた。ピーマン、なす、かぼちゃなどの天ぷら材料も動向が良かった
- ・ 気温の高い日が続いたことでレタス、トマト等が相場高で品薄状況が続いた
- ・ 果物では、秋の商材（みかん、なし、柿、りんご）が軒並み出遅れ、相場高で推移した

○ 水産

- ・ 8月に引き続き、生さんまは、海水温の上昇により水揚げが少なく、相場高で推移し大苦戦した
- ・ 残暑の影響で生食（エビ、たこ、いか、貝）やサラダ材料（たこ、サーモン）が好調だった
- ・ 猛暑でうなぎ蒲焼は好調だった。行楽・運動会シーズンに入り、塩鮭・魚卵も好調だった

○ 畜産

- ・ 牛肉は、残暑にもかかわらずステーキ・焼肉商材が振るわず、しゃぶしゃぶやスライスの動きも鈍く全体的に不振だった
- ・ 豚肉は、前半猛暑の影響で冷しゃぶ関連が好調だった。後半で気温が下がって温しゃぶ関連の需要を見込むが振るわず前年並みにとどまった
- ・ 鶏肉は、行楽・運動会シーズンをむかえ、正肉・唐揚げともに好調に推移した

○ 惣菜

- ・ 8月に引き続き、猛暑による家庭における調理時間の減少等により、ほとんどの分類で大幅に伸長した
- ・ 行楽、お彼岸をむかえ、赤飯・ちらし寿司が好調。特に手作りおはぎは各社とも好調だった

○ 日配・加工食品

- ・猛暑により、飲料・アイスクリーム・ところてん・冷やし中華等の涼味商品が好調だった
- ・酒が好調、中でも新ジャンル、ノンアルコールやウイスキーが好調だった
- ・野菜の高騰により漬物（特に浅漬け）が好調だった
- ・残暑が続いたことで、チョコレート・ビスケットを中心に菓子類は不調だった

○ 「行楽・運動会・お彼岸」

- ・各地でB級グルメ大会が開催され、御当地食材が話題になった。特に山梨地区ではB 1 グランプリ「甲府とりもつ煮」が優勝。特設コーナーで販売し好評だった
- ・行楽、運動会シーズンをむかえ、お弁当・いなり・チラシ寿司が好調だった
- ・お彼岸用お供え花が好調に推移した。町のお花屋さんの減少により今後需要が見込める。花きの相場動向も強く、値ごろ感の打ち出しで伸びた

○ 「残暑」

- ・アイス、飲料、梅干しは8月同様に大きく伸ばしたが、逆に納豆、揚げ物、ラーメン等が不調だった
- ・7月、8月に引き続き、残暑の影響から涼味商材が好調に推移した
- ・UV化粧品、洗濯用品等も売上を伸ばした

○ 「たばこの値上げ」

- ・9月上旬より、各社ともに店内放送・店頭告知・予約販売・社内販売により購買を促進した
- ・中旬以降、徐々に売上を伸ばしたが25日から月末まで爆発的な売上を示した。主にカートン（10個）売りのまとめ買いによる。
- ・たばこ値上げに伴う駆け込み需要で、前年の2倍以上の売上を上げた会員社も多くあった